

指定管理者評価シート(総括)

評価期間: 令和5年4月～令和6年3月

施設名	古賀市健康文化施設クロスパルこが	施設所管課(部・課)	教育部 生涯学習推進課
所在地	古賀市青柳町830番地1		
設置目的	市民の健康づくり、生涯スポーツ及び文化振興を図り、障がい者・高齢者と共に生きる健やかな地域社会実現に資するため。		
施設概要	多目的体育館、温水プール等を備え、子どもから高齢者、障がい者の健康づくり、生きがいづくりに資するための事業を実施する。		
指定管理者	西部ガス都市開発グループ事業体	指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日

評価項目		自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考(所管課記載)	
1 事業計画書の内容が、利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること (手続条例第4条第1項第1号)	1 利用者の平等な利用の確保	1 施設運営のための運営方針は適切か	3	3	事業計画通り、子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず参加できる教室やレッスンを実施し、幅広く市民を対象とした事業展開ができています。
		2 事業内容等に偏りがないか	3	3	利用者のレベルに応じたレッスンプログラムを充実させているほか、既存教室の定期的な見直しや障がい者への浴場開放など、子どもから高齢者、障がい者向けのプログラムを提供しており、偏りのない事業展開ができています。
		3 利用者の平等な利用が確保されているか	3	3	禁止行為、迷惑行為への対処、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に対応したプログラムを展開しており、各施設利用者の平等な利用が確保できているといえる。
		4 利用促進への取組内容は適切か	3	3	市立小中学校の水泳授業の受託は、施設のPRIにもつながったと言える。また、さまざまな情報媒体を使った利用促進、SNSによる若い世代向けの情報発信も行っており、利用促進への取組は適切であると言える。
	2 利用者へのサービス向上	1 サービス向上のための取組内容は適切か	3	4	利用者のニーズに応じ、ソフト・ハードの両面からより良いサービスの向上をめざし取組を進めている。また、スケート体験など事業体の特色を生かした取組も評価できる。
		2 利用者の意見の把握・反映の内容は適切か	3	3	「ご意見箱」を設置し、定期的な聞き取り調査により、利用者の声を積極的に集めている。また、不具合案件については修理予定日をお知らせするなど、利用者離れを防ぐことにもつながっている。
		3 利用者からのクレームへの対応は適切か	3	3	スタッフ間での苦情の共有を確実に行うことで、再発防止に努めており、定例会議で市とも共有している。老朽化した備品へのクレームなど、案件に応じて本部担当者が利用者の対応をしており、苦情対応の体制が整っている。
		4 施設の設備等の活用の内容は適切か	4	4	利用者のニーズに沿ったプログラムが提供されている。また、令和4年度末に導入した体育館予約システムは、稼働率の向上につながっており、市立小中学校の水泳授業の受託やアリーナでの大規模大会の受け入れ、多目的室での文化活動の実施など、十分な施設活用がなされている。
		5 地域との交流のための取組内容は適切か	3	3	市立小中学校の水泳授業の受託や「あすなる教室」利用者の巡回バス利用の受け入れ、駅伝・ウォーキングへの参加や準備体操でのスタッフの派遣など、市と積極的に連携を実施している。
	2 事業計画書の内容が、公の施設の適切な維持及び管理並びに管理に係る経費の縮減が図られるものであること (手続条例第4条第1項第2号)	1 施設の維持管理の内容及び手法	1 施設・設備の維持管理の取組内容は適切か	3	3
2 安全管理・安全対策は適切か			3	3	マニュアルに基づいた安全管理・安全対策を実施している。プール内での事案発生を踏まえ、今一度、対策を徹底し、有事に備え迅速な行動ができるよう、万全な体制づくりを求める。
	2 施設の管理運営に係る経費の内容	1 経費節減のための取組は適切か	3	4	利用者へのサービス低下を招くことなく、共同事業体の強みを生かし、電気・ガスの一日当たり使用量を2年連続前年度から削減していることは評価できる。

評価項目			自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考(所管課記載)
3 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること (手続条例第4条第1項第3号)	1 収支計画の内容及びその実現性	1 収支計画と事業計画の整合は取れているか	3	4	年度末会員数の目標値は達成できなかったが、コロナ渦を経て回復しており、会員数、都度利用者数ともに前年度を上回った。また、市内小中学校の水泳授業受託もあり、黒字決算となった。
	2 安定した運営が可能となる人的能力	1 職員の採用・確保・配置の方策は適切か	3	3	関係法令を遵守した管理運営を行っている。古賀市在住者の雇用比率は前年度から下がったが、地元雇用、女性雇用を促す努力をされている。
		2 職員の研修体制等は十分か	3	3	従業員の資質向上、防災訓練、利用者のサービス向上等の研修を行っており、職員の研修体制は十分といえる。
4 前3号に掲げるもののほか、公の施設の設置目的を達成するために十分な能力を有しているものであること (手続条例第4条第1項第4号)	1 安定した運営のための財政的基盤	1 団体の財務状況は健全か	3	3	代表企業である西部ガス都市開発株式会社は過去最高の収益を上げており、共同事業体としても黒字であり、財務状況は健全と判断する。
	2 個人情報の保護措置・情報公開	1 個人情報の保護措置及び情報公開の取組内容は適切か	3	3	研修等を通じ、個人情報の保護措置は適切に実施されている。
	3 類似施設の運営実績	1 類似施設や類似業務を良好に運営した実績はあるか	3	3	複数の類似施設を展開しており実績は十分である。また、備品の共同購入による経費の削減や、類似施設の事例を取り入れており運営に活かしている。
5 その他	1 その他の提案・企画	1 提案・企画の内容等は適切か	3	3	事業計画に提案された取組は実施しており、またインボディの機器更新、専門家を招いたウォーキング、スケート体験のイベントなど、利用者が楽しく参加でき健康づくりに役立つ新たな取組を企画している。

指定管理者のコメント(自己評価・PR等)

公の施設として『市民の健康づくり・生涯スポーツ及び文化の振興を図り、障がい者・高齢者と共に生きる健やかな地域社会づくり』を念頭に置き、ヘルスアップぶらん、古賀市健康増進計画第2次の基本理念である『あなたが主役 みんなで広める健康づくり』を心掛け、多くの市民に活用して頂ける施設運営を行ってまいりました。当期は新型コロナの影響もほなくなり、利用者も回復が続いています。当施設では利用者の性別や年齢、障がいの有無にかかわらずすべての市民が公平・平等に施設を利用できるよう心掛け運営しております。また、当期については全国でも珍しい小中学校の水泳授業を受け入れる施策を実行いたしました。生徒の泳力アップはもちろんのこと、安全に全ての学校の授業を完遂いたしました。これは通常営業も行いながらの実施であり、困難もありましたが、生涯学習推進課、学校教育課のご支援によるものです。次年度についても1年目の経験を活かしたいと思います。プール外に目を向ければ、スタジオレッスンや和太鼓教室などに初心者を受け入れる施策を実施し、市民の皆さまが気軽に健康づくりを始められるような施設運営を行っております。施設や設備も老朽化がみられますが、定期的な点検により、早期の修繕を行い、施設寿命の延伸にも貢献しております。今後も古賀市民の皆さまに親しまれる施設運営を続けてまいります。

所管課のコメント

- ・全体を通して、事業計画に基づき適切に管理運営を行っていると考える。
- ・「あすなろ教室」利用者の巡回バス利用の受け入れや小中学校の水泳授業の受託は、通常営業を維持しながら実施しており、市と強固に連携した取組ができている。またこれによる施設のPRにもつながった。
- ・定期的なプログラムの見直しや様々な利用促進策の実施、体育館の利用が少ない平日午前の利用料金の見直しや備品の更新などにより、会員数、都度利用者数ともに増加させたことは評価できる。
- ・施設は老朽化が進んでいるが、突発的な修繕も利用者の安全を確保しつつ、適切な維持管理に努めている。
- ・利用者の声には誠実に対応しており、今後もサービス向上に向けた取組を継続されることを期待する。

評価委員会のコメント

- ・全体を通して、計画に基づいた適切な管理運営が行われたことを評価する。
- ・新型コロナウイルスが5類に移行した後も、感染予防対策に努め、定期的な施設点検を行い、施設の安全管理に努めていただいた点を評価する。
- ・障がい児者の利用については、脳梗塞を患った方のお風呂利用や、障がいのある児童を対象としたプール教室の受け入れなど、利用者へ寄り添った支援とサービス向上に努められている点を高く評価する。
- ・利用者増や収入増にもかかわらず、電気・ガス使用量を削減できた点は、共同事業体の強みを生かした取組の成果として高く評価する。
- ・小中学校の水泳授業を計画通りに全て受託し、利用者に影響なく実施できた点を高く評価する。
- ・次年度も会員数の確保に向けた取組を継続し、収支均衡に努めていただくことを期待する。